

J : 学校と家庭のよりよい関係づくり

～学校から働きかける家庭教育支援を考える～

研修のねらい

少子化、家族形態の多様化などの家庭環境の変化や地縁的なつながりの希薄化などを背景とし、家庭の教育力の低下が指摘されています。また、県内の家庭教育に関する学級・講座数や参加者数は年々増加していますが、家庭教育の重要性を認識しながらも参加しない保護者や孤立している保護者等への働きかけが課題となっています。

本研修では、「学校は保護者が一同に集まる機会が多く、一斉に情報を発信しやすい場」であることから、各校の事例や現状をもとに、学校から働きかけることのできる家庭教育支援の方策やその効果などを、研究協議を通して考えます。

- 1 研究協議
 - ・ 自校の保護者の家庭教育に関する現状と課題
 - ・ 自校または、地域における家庭教育支援に関する取組の事例
- 2 演習・研究協議「学校からはたらきかけることのできる家庭教育支援の方策やその効果」
 - ・ ワークショップをとおして具体的な支援の方策やそこから期待できる効果について協議します。
- 3 まとめと振り返り

当日の持参品、課題等

- ・ 事前課題【様式 J】

自校の保護者の家庭教育に関する現状と課題や、自校または地域における家庭教育支援に関する取組の事例等について、指定の【様式 J】に従って A 4 判 1 枚程度にまとめて持参する。

※事前課題等は【様式 J】に従って記入し、F A Xにて送付すること。事前課題の持参部数及び様式については、7月26日よりW e b発信します。